

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>0 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.8</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00			<b>2.9</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.40			
1.1.1 暗騒音レベル	T-2サッシ採用。住戸内の暗騒音を35db以下とした	<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
2.1.1 室温設定		3.0	0.63	3.0	0.63			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.3</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			
3.1.1 昼光率	共用部6.36、住戸2.40	5.0	0.60	5.0	0.50			
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.2</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00			<b>4.2</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	F を採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応	各住戸に100Mbitクラスのブロードバンド利用が対応可能	3.0	-	4.0	1.00			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.40	<b>3.5</b>	0.40			
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-			
1.2.3 内装計画	照明と内装を総合的に計画	4.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.31	-	-			<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.3</b>	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1 空調・換気設備	換気設備の系統分け、災害時重要度の高い部分を優先的に運転		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具、水槽二基設置、井戸水利用		5.0	0.20	-	-	
3 電気設備			1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA対応		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	敷地内通風確保、緑化面積確保		4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	潜熱回収の給湯器を採用		5.0	0.40	-	-	5.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水器具採用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無			3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	外壁タイル		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	内装材に有害物質を含まない材料を選択		5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.6	0.68	-	-	
1 消火剤			3.0	0.33	-	-	
2 断熱材	ノンフロン断熱材を採用		5.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	敷地内駐車場確保		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	